

(4) 教育普及事業

1. 事業の基本的な考え方

展示解説、普及活動等を行う教育普及事業は、調査・収集・整理・保存・展示・研究などの諸活動とともに、文学館活動の中で重要な位置を占める。県民のニーズに対応し、社会教育・学校教育との連携を図るなかで、文学専門の博物館としての特殊性を生かし、年間を通しての文学講座の開催、講演会の開催、文学的に価値ある映画の上映、朗読講演会、県内の文学ゆかりの地を訪ねる文学散歩を行うなど、県民や来館者の生涯にわたる学習がより一層進展するように学習支援を行っていく。

また、山梨ゆかりの作家や作品の資料を活用した学習プログラムや子ども向け事業の充実を図ることは、郷土への関心を高め、郷土を愛し、郷土に誇りを持てるような心情を育むという点からも重要であると考え。子どもから大人までの幅広い県民の文学活動の中心となり、文化の発信拠点を目指す。

2. 教育普及活動の内容

(1) 企画展関連教育普及事業

企画展に関連して、作家・研究者・関係者による講演会や関連講座を行う。企画展のテーマを詳しく解説し、展示では扱えなかった視点から考察を加えるとともに企画展そのものへの理解を深められることを目的とする。平成26年度は「村岡花子展」、「谷崎潤一郎展」に関わる以下の事業を実施した。

①外部講師及び職員による講演会・文学講座事業を実施。

②関連映画鑑賞会を実施。

③関連ワークショップを実施。

④ギャラリートーク（展示解説）を実施。

⑤企画展チャレンジクイズ

楽しみながら企画展の内容が学べる小中学生対象のクイズを作成。「チャレンジクイズ」を通して、文学や作家について学ぶ機会を提供。

⑥庭園オリエンテーリング

花子の翻訳した外国文学について、クイズに答えながら学べる庭園でのオリエンテーリングを実施。

(2) 山梨文学散歩

16年度から秋の企画展関連事業として実施している。文学館及び、文学館が別に定める選定要領により選定したNPO法人、旅行業務取扱資格を有し低経費で事業実施可能な公益社団法人やまなし観光推進機構、県学術文化財課との協働事業とし、コースにあたる市町村の協力のもと開催する。企画展観覧後文学ゆかりの地を訪ねることで、より興味深く学習できる内容で取り組んできたが、平成24年度からは、企画展関連に限らず広く県内の文学ゆかりの地を巡ることとして実施している。平成26年は、峡南地域に熊王徳平や与謝野晶子の足跡を訪ねた。

(3) 年間文学講座

年間文学講座は平成2年度から実施している。県民の興味・関心に応じて幅広く学べるよう配慮し、テーマ設定に当たっては講師の専門性を生かすとともに、県民のニーズに対応できるよう、土・日や平日にも開講する。

平成26年度は、外部講師による「古典文学講座（全8回）」と「近代文学講座（全8回）」の2講座と当館の学芸員が講師を務める「山梨の文学講座（全3回）」を実施した。

講座1のテーマは「歴史のなかの枕草子」、講座2のテーマは「小林秀雄をめぐる文学者たち」、講座3は、当館の展示作家を中心に、山梨出身・ゆかりの人物と文学についての講座を実施した。

(4) 名作映画鑑賞会

文学作品を映画化した名作の数々を上映し、文学と映画の関わりについて考え、作品をより深く理解してもらうための企画である。平成2年から毎年実施し、企画展開催期間中には関連映画鑑賞会を実施、また、夏休みには子ども向け映画上映も計画している。平成26年度は一般向け映画5回、子ども向け映画を2回、全7回実施した。

(5) 朗読公演会

作品（詩・小説など）の魅力が朗読公演によって鑑賞する一般向けの企画を1回実施する。これは、開館の年から毎年開催、幅広い年齢の聴衆から大変好評を博している。平成26年度は、「深沢敦さんと読む 日本のことば」を11月に実施した。また、幼児、小学生から大人まで、家族で朗読に親しみ、文学に触れる「お話の森朗読会」を2回実施した。

(6) 文学創作教室

俳句をはじめ短歌や詩、エッセイなどの創作を通じて、文化活動を推進する。小・中・高校生をはじめ広く県民を対象に、文学創作講座を実施する。今年度は、主に若年層へ向けた小説教室（一般および高校生対象）と館長による短歌教室（4回）を開催した。

(7) 山梨の文学解説講座（出前講座）

この講座は、学芸課の職員が、要請された市町村等に関連のある県出身・ゆかりの文学者と作品を紹介する講座である。当館の研修室・講堂等あるいは市町村施設等において、説明・講義をした。

(8) 教師のための学習会

県内の小・中・高校・特別支援学校の教職員を対象に春と秋の企画展に関わって、文学館職員による説明と観覧を通して、国語教育への活用を図った。

(9) 児童生徒向け事業について

将来の山梨を担うことになる子どもたちに、山梨ゆかりの文学と文学者について学びきっかけを作る。学校教育との連携をより緊密にして、文学を通して豊かな心を育てていく。

① 文学教室

年間を通じ、随時開催する。小学校、中学校、高等学校の要請に応じ、当館が展示する内容について、当館の研修室・講堂等、あるいは各小中学校、高等学校において、説明・講義する。

② 子ども名作映画会

当館講堂において、夏休み（2回）の期間中に良質の映画の上映を行う。

③ お話の森朗読会

朗読は、子ども達により楽しく、親しみをもって文学を身近に感じてもらえる機会となる。県内で活躍する朗読指導者等の協力を得て土曜日を実施し、低年齢の子どもから大人まで、家族や親子で朗読に親しむ機会とする。平成26年度は6月、8月の計2回実施した。

④ 子どもワークショップ

子どもを対象とした参加型・体験型の教室を開催し、文学を身近に感じ、文学や文学者に興味を持ってもらう機会とする。今年度は、特設展「本のおしゃれ」関連事業として「製本ワークショップ」また、夏休みのワークショップとして、「江戸の売り声を体験しよう」、「からくり屏風を作ろう」を開催した。1月には、百人一首教室を実施した。

⑤ 学習ガイド（ジュニアガイドブックと教育普及用資料集）

県出身又はゆかりの文学者、作品について、小中高生の理解を深めるために、文学者、作品についての教育普及資料集を作成する。平成26年は村岡花子の教育普及資料を改訂した。

また、常設展示室に展示されている山梨県出身およびゆかりの文学者について、わかりやすく解説したジュニアガイドブックを活用し、子どもたちが文学への興味や関心を持てるようにする。

⑥ チャレンジ文学館

常設展クイズ「わたしはだあれ？」と公園内オリエンテーリング「文学の柱追跡散歩」。

常設展を見に来た子どもたちが、ポイントをつかんで楽しく観覧できるように、常設展クイズ「わたしはだあれ？」を実施し活用を図っている。また、芸術の森公園内に、俳句や詩、短歌や童謡、小説やエッセイの一節を書いた24本の柱を立て、「文学の柱追跡散歩」としてクイズを実施する。さらに、今年度も夏休みフリーパスポートの活用により、夏休み期間中は「夏休みチャレンジ文学館」として子どもたちへの浸透を図った。

⑦ チャレンジクイズ

楽しみながら企画展や特設展の内容が学べる小中学生対象のクイズを作成。「チャレンジクイズ」を通して、文学や作家について学ぶ機会を提供する。

⑧ (ジュニア) インターンシップ (就業体験)

子どもたちの職業観・勤労観を、より早い段階から育成するとともに、将来、自らの進路を自分自身で選択できる能力を育てていくことが課題となっている。文学館としても、中・高校・大学生の職場見学や(ジュニア)インターンシップを積極的に受け入れ、若年者の職業意識形成支援に積極的に取り組む。平成26年度は中学生、大学生のインターンシップを受け入れた。

⑨ 学習資料・アウトリーチセットの貸与

館作成資料の一部を学習のために貸与する。要請により、学校をはじめ、生涯学習事業等に対して貸与を行う。平成26年度は、「石川啄木展セット」(等身大パネル・短歌10首のパネル・解説パネル)を県内小中学校15校に、「飯田蛇笏・龍太のちまちな人形セット」(蛇笏、龍太のちまちな人形・俳句パネル・解説パネル)を13校に貸し出した。また、「村岡花子と赤毛のアンセット」を作成し次年度の貸与の準備を完了した。

⑩ リーディングシアター

新しい教育課程全面実施の中で現在各学校が教科を超えて取り組む「言語活動の充実」の一助として、小中学校の日頃の学習の成果の発表の場を作り、児童生徒の学習の目的意識や相手意識の構築をサポートすることを目的に、平成24年度から始めた。

児童生徒がお互いの発表を聴き合い、また、大人の方にも聴いてもらう交流の場をつくり、朗読の楽しさを味わい、更に読書への興味・関心・意欲を育てることにつながることをめざす。

保護者等に文学館を知ってもらう機会とする。

(10) やまなし文学賞について

平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して制定された。山梨県の文学振興をはかり、日本文化発展の一助として、小説、研究・評論の2部門が設けられている。平成26年度は小説部門295編、研究・評論部119編の応募があった。

平成26年度 教育普及事業の実施状況

分類	内容 講師等	開催日・会場等	参加人数
文学講座 1	「歴史のなかの枕草子」1～8回 池田尚隆(山梨大学教授)	土曜日 14:00～90分間 年8回 講堂	全8回 1083人 平均 135人
文学講座 2	「小林秀雄をめぐる文学者たち」 新保祐司 (文芸評論家・都留文科大学教授)	木曜日 14:00～90分間 年8回 講堂	全8回 516人 平均 65人
文学講座 3	「山梨の文学」 近代文学の装幀と挿絵 —特設展「本のおしゃれ」展示資料より— 保坂雅子(学芸員) 乙骨耐軒「甲役途中詩」にみる甲州街道 小俣 岳(学芸幹) 平安和歌文学における甲斐 伊藤夏穂(学芸員)	木曜日 14:00～70分間 年3回 研修室 8 /21(木) 9 /11(木) 1 /29(木)	全3回 97人 平均 32人
参加者合計			1696人
春の企画展関連事業	講演会「村岡花子と甲府」 講師 村岡恵理 (作家、赤毛のアン記念館・村岡花子文庫主宰)	4 /26(土) 講堂	483人
「村岡花子展」	ワークショップ「アンの寄せ植え教室」 講師 望月 優(山梨県立農林高校教諭)	5 /5 (月) 素心菴	37人
	講演会「赤毛のアンに学ぶ、 脳の力を引き出す方法」 講師 茂木健一郎(脳科学者)	5 /6 (火) 講堂	470人

春の企画展関連事業 「村岡花子展」	ワークショップ「アンのお料理教室」 講師 浅野公子(栄養士)	5 /18(日) 素心菴	35人
	講演会「をみななればー村岡花子・短歌の魅力」 講師 三枝昂之(当館館長)	5 /31(土) 講堂	420人
	アン英語劇ワークショップ 講師 小口真澄 (英語芸術学校 マーブルズ代表)	6 /14(土) 研修室	138人
	講座「村岡花子の言葉」 講師 高室有子(学芸員)	6 /19(木) 研修室	120人
	教師のための学習会 講師 高室有子(学芸員)	6 /17(火) 研修室	26人
	ギャラリートーク	3回	70人
	参加者合計		1799人
秋 企画展関連事業 「谷崎潤一郎展」	講演会「『細雪』と非常時のことば」 講師 高橋源一郎 (作家・明治学院大学教授)	10/ 5(日) 講堂	241人
	映画会 「細雪」	10/12(日) 講堂	309人
	講演会「『細雪』の女たち」 講師 千葉俊二 (早稲田大学教授)	11/ 3(月) 研修室	120人
	講演会「谷崎潤一郎と河口湖」 講師 中野和子(学芸員)	10/ 9(木) 研修室	109人
	教師のための学習会 講師 中野和子(学芸員)	10/28(火) 研修室	10人
	ギャラリートーク	1回	65人
	参加者合計		854人
名作映画鑑賞会	アニメ 「赤毛のアン グリーンゲートルズへの道」	5 /25(日) 講堂	400人
	「秘密の花園」	6 /29(日)	300人
	子ども映画会 「銀河鉄道999君は戦士のように生きられるか」	8 / 3(日)	183人
	子ども映画会「長ぐつをはいたネコ」	8 /24(日)	230人
	「黒蜥蜴」	9 /28(日)	295人
	「太平洋ひとりぼっち」	10/26(日)	150人
	「お遊さま」	11/23(日)	250人
	参加者合計		1808人
朗読公演会	朗読公演会「深沢敦さんと読む 日本のことば」	11/ 8(土) 講堂	189人
文学創作教室	文学創作教室(小説)「文学の場所を求めて」 津島佑子(作家)	7 / 6(日) 研修室	102人
	文学創作教室(短歌)「初心者短歌教室」(全4回) 三枝昂之(当館館長)	10/ 2(木) 研修室	28人
		10/16(木) 研修室	26人
		10/30(木) 研修室	26人
		11/13(木) 研修室	26人
参加者合計		208人	
お話の森朗読会	第1回お話の森朗読会	6 / 7(土) 素心菴	77人
	第2回お話の森朗読会	8 /17(日) 素心菴	49人
参加者合計		126人	
子どもワークショップ	夏休み自由研究プロジェクト	7 /21(月・祝) アイメッセ	400人
	製本ワークショップ 上島明子(美馬堂)	7 /27(日) 研修室	50人
	江戸の売り声ワークショップ 宮田章司(売り声師)	8 / 6(水) 研修室	100人

子どもワークショップ	からくり屏風ワークショップ 片岡恭一(片岡屏風店)	8 / 9(土) 研修室	57人
	新春百人一首教室 清水章子(竜王かるた会)	1 / 10(土) 研修室	63人
参加者合計			670人
チャレンジ文学館	幼児		185人
	小学生		924人
	中学生		986人
	高校生		775人
	大人(大学生を含む)		474人
参加者合計			3344人
協力会読書会	辻村深月「鍵のない夢を見る」	5 / 11(日)	9人
	太宰治「ろまん燈籠」外	6 / 8(日)	9人
	芥川龍之介「蜘蛛の糸・杜子春」外	7 / 13(日)	10人
	河合隼雄・村上春樹 「村上春樹、河合隼雄に会いに行く」	8 / 10(日)	6人
	池田茂光「山を祭る人々」	9 / 7(日)	14人
	江國香織「号泣する準備はできていた」外	10 / 18(土)	10人
	石川達三「生きている兵隊」	11 / 8(土)	7人
	向田邦子「思い出トランプ」外	12 / 13(土)	10人
	林真理子「白蓮れんれん」外	1 / 24(土)	11人
	山本周五郎「おさん」外	2 / 15(日)	10人
	小野正嗣「九年前の祈り」	3 / 14(土)	10人
参加者合計			106人
ジュニアインターンシップ (就業体験受け入れ)	中学校 2校		4人
	大学 1校		2人
学芸員実習			3人
参加者合計			9人
山梨の文学解説講座 (講師派遣) (一般・学校)	小学校 1回		小中高特 646人 一般 1286人 全42回 1932人
	中学校 1回		
	高等学校 2回		
	一般 17回		
参加者合計			
文学教室	展示解説		小中高特 2723人 一般 1352人 全回 4075人
	小学校 11校		
	中学校 29校		
	高等学校 14校		
参加者合計			
その他	移動文学館パネル展示	29校	10403人
	やまなし文学賞(小説295 研究・評論119)		414人
	リーディングシアター		207人
	外部共催研修	2回	57人
	山梨文学散歩	2回	76人
	各種団体への広報活動	13回	936人
参加者合計			12093人